



令和3年度文化活動人材育成セミナー
佐野の暮らしと仕事に学び、
新たな文化の創造に向けて踏み出そう

受講者ガイダンス

講師 若者文化研究所 西村美東士

主催 佐野市民文化振興事業団

こんな時代だからこそ、身近なわが街をもっと知るチャンス！佐野の歴史やこれまでの暮らしに学び、新たな文化を創り出す一歩を踏み出そう！

文化活動人材育成セミナー

参加者募集

初めての方、大歓迎！



10/30(土)～R4年2/26(土) [全4回]

佐野には奥深い文化が受け継がれてきました。地域の歴史や暮らしなどに思いを馳せ、セミナーに集う人たちがテーマを決めて掘り下げ、意見交換を通じながら、改めて「佐野らしさ」の発見や魅力に気づくきっかけを、講師・受講者の相互交流で進めるセミナー。

テーマのイメージ(例)
・町並みや街道・伝統文化・
古い建物・遺跡・佐野の城や
城下町・昔ばなし・鉄道の歴史 など

- 時 間 各回とも土曜日 午後2時～4時
- 場 所 佐野市郷土博物館(別途グループ活動あり)
- 講 師 西村美東士 氏
(若者文化研究所代表・佐野市生涯学習推進アドバイザー)
- 対 象 地域の歴史や文化に関心のある方 20名

回	月日	内 容
1	10/30	佐野の文化財と人々の暮らしについて (ガイダンス、テーマ・グループ設定等)
2	11/27	フィールドワーク経過報告
3	1/15	フィールドワークまとめ
4	2/26	意見交換会

参加料
無 料

申込み・問い合わせ
(公財)佐野市民文化振興事業団
電話 55-5666 FAX 55-5699
HP <http://kagayaki.sanocity.jp> E-mail: bunka@sctv.jp
【事務局：佐野市郷土博物館内(大橋町)】

※セミナー初回を10月30日からに変更しました。

気軽にいらっしやい！

おしゃべりサロン

OPEN

歴史・文化・趣味などの話しをしたい人、聞きたい人、集まれ！
詳しくなくても大歓迎！気軽に楽しく過ごしませんか。

- 期 日 9/25・10/30・11/27・1/15・2/26
- 時 間 各回とも土曜日 10:00～11:30
- 場 所 佐野市郷土博物館 ※参加無料

求む！

活動サポート
ボランティアメンバー

WANTED

事業団の活動を支援いただける方を募集しています。

目次

1. あなたが「誇り」にしたいことは何ですか？
2. まちなか再発見マップ
3. 唐沢山城
4. プロローグ
5. 方法 ～調べる・考える・まとめる～
6. たとえば職人の苦労話を聞いてみましょう
7. 本セミナのねらい
8. 「暮らし」とは？
9. 進め方
10. 政治史よりも文化史に注目します
11. フィールドワーク・テーマ例
12. 講師等



あなたが「誇り」にしたいことは何ですか？

受け継ぎ、発展させたい佐野の「自慢」は何ですか？

発展させ、創り出したい佐野の「文化」は何ですか？

→「自慢」からフィールドワークの材料を考えよう

まちなか再発見マップ 佐野市ホームページより

まちなか再発見マップ

戦災を免れた佐野の中心部には、江戸時代から昭和に至る各時代の建築様式を取り入れた建物が現存し、町並みの博物館となっています。このマップを片手に、佐野のまちなかの面白いものを歩いて発見しましょう。

[まちなか再発見マップ\(表面\) \(PDFファイル: 1.8MB\)](#)

[まちなか再発見マップ\(裏面\) \(PDFファイル: 1005.5KB\)](#)

戦災を免れた佐野の中心部には、江戸時代から昭和に至る各時代の建築様式を取り入れた建物が現存し、町並みの博物館となっています。このマップを片手に、佐野のまちなかの面白いものを歩いて発見しましょう。



佐野 まちなか 再発見



1 本町
明治時代の大規模な建てられた明治建築の建群。市の文化財に指定されている。



2 大町
戦前建築として設計されている近代建築の建物。



3 小坂町
明治時代建築の建物。昭和初期に一般化されている。



4 中央町
明治時代建築の建物。昭和初期に一般化されている。



5 江戸街道沿いの街並み
江戸時代から明治時代にかけての建物。昭和初期に一般化されている。

戦災を免れた佐野の中心部には、江戸時代から昭和に至る各時代の建築様式を取り入れた建物が現存し、町並みの博物館となっています。このマップを片手に、佐野のまちなかの面白いものを歩いて発見しましょう。



まちなかの商店に見られる建築様式

明治建築



江戸時代から明治時代にかけての建物。昭和初期に一般化されている。

明治中期



明治中期の建物。昭和初期に一般化されている。

昭和建築



昭和初期の建物。昭和中期に一般化されている。



6 本町
明治時代建築の建物。昭和初期に一般化されている。



7 小坂町
明治時代建築の建物。昭和初期に一般化されている。



8 中央町
明治時代建築の建物。昭和初期に一般化されている。



9 江戸街道沿いの街並み
江戸時代から明治時代にかけての建物。昭和初期に一般化されている。



10 本町
明治時代建築の建物。昭和初期に一般化されている。



11 小坂町
明治時代建築の建物。昭和初期に一般化されている。



12 中央町
明治時代建築の建物。昭和初期に一般化されている。



13 江戸街道沿いの街並み
江戸時代から明治時代にかけての建物。昭和初期に一般化されている。



14 本町
明治時代建築の建物。昭和初期に一般化されている。

まちの碑STORY

あるこゝに見えゆる碑銘やモニュメントには、そのまちのらびびりや歴史が刻まれ、まちに息を吹きかよえています。



1 新しどり石
約70年前、戦を覚えて開かれたつがいの新しどりをこの地に刻ったことから、新しどり石と呼ばれる。



2 駅前噴水
駅前の噴水は、花野市にある新しどりのモニュメントが設置されている。



3 新馬場公園の海
大正新馬場公園は、昭和10年に開設された。花野市にある海。



4 橋下つるべ井戸
橋下つるべ井戸は、花野市にある井戸。



5 こんな所に神社が・・・
(その1)



6 橋下つるべ井戸
橋下つるべ井戸は、花野市にある井戸。



7 神社が・・・
(その2)



8 神社が・・・
(その3)



9 新馬場公園の海
大正新馬場公園は、昭和10年に開設された。花野市にある海。



10 花野小学校
花野小学校は、花野市にある小学校。



11 花野小学校
花野小学校は、花野市にある小学校。



12 花野小学校
花野小学校は、花野市にある小学校。



13 まちなかの地蔵堂
まちなかの地蔵堂は、花野市にある地蔵堂。



14 花野山門
花野山門は、花野市にある山門。



15 花野山門
花野山門は、花野市にある山門。



16 花野山門
花野山門は、花野市にある山門。



17 花野山門
花野山門は、花野市にある山門。



18 花野山門
花野山門は、花野市にある山門。

エコ路地～

「おきき、町中をのぞいて、花野の地味な家並に
透りぬけるのが、なんとも好きなんだ。」（町長
高田氏「おきき地味」より）



19 新馬場公園の海
大正新馬場公園は、昭和10年に開設された。花野市にある海。



20 花野山門
花野山門は、花野市にある山門。



21 花野山門
花野山門は、花野市にある山門。



22 花野山門
花野山門は、花野市にある山門。



23 花野山門
花野山門は、花野市にある山門。



24 花野山門
花野山門は、花野市にある山門。

面白デイス遊

町中や民家の遊びやあそびのデイス遊などもあつてふふふ。



25 花野山門
花野山門は、花野市にある山門。



26 花野山門
花野山門は、花野市にある山門。



27 花野山門
花野山門は、花野市にある山門。



28 花野山門
花野山門は、花野市にある山門。



29 花野山門
花野山門は、花野市にある山門。

唐沢山城

<https://www.city.sano.lg.jp/soshikiichiran/kyouiku/bunkazaika/gyomuannai/4/2/4872.html>

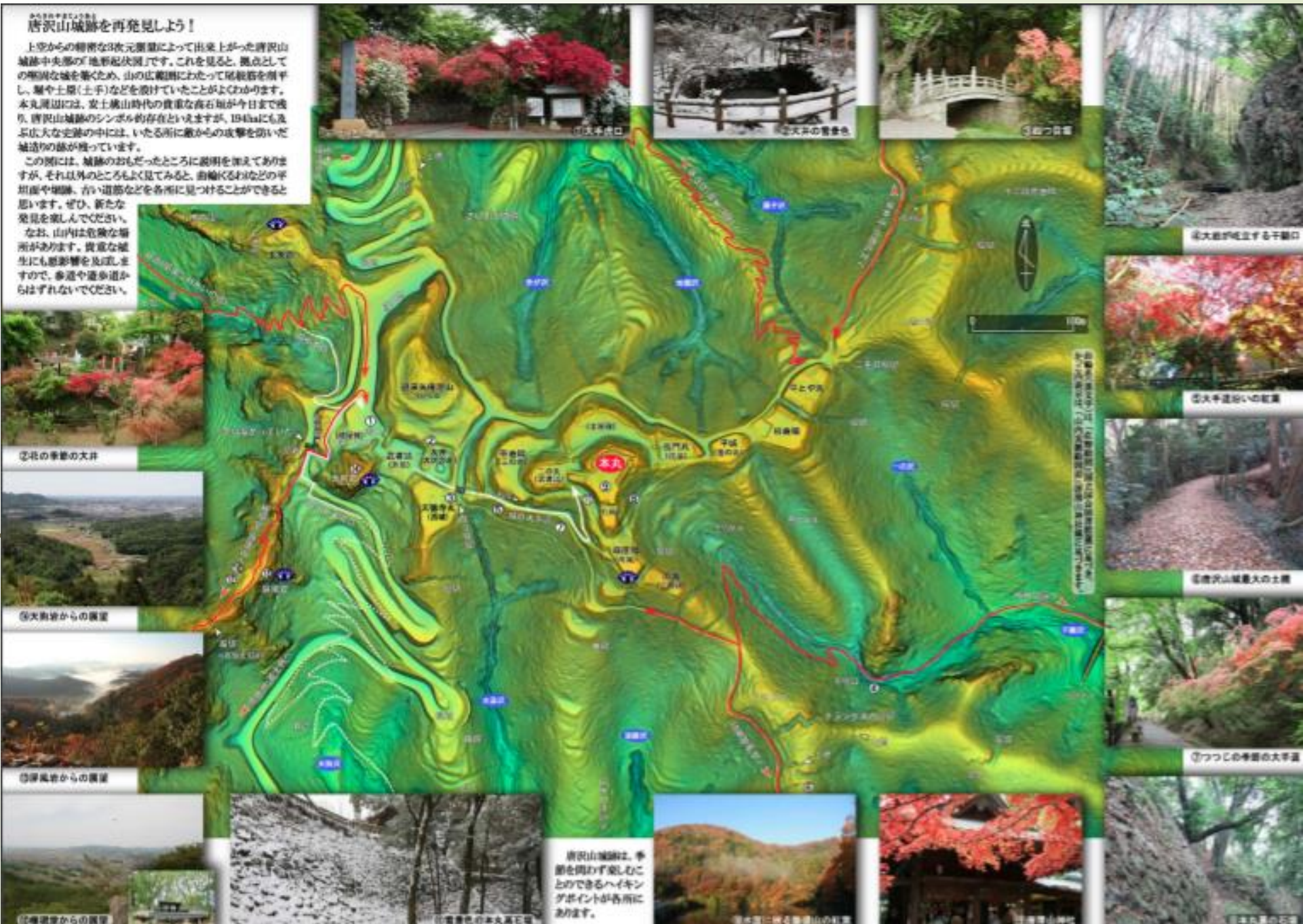
- 唐沢山城の紹介
- 県立自然公園となっている唐沢山には山城があり、唐沢山城跡と呼ばれています。戦国時代に佐野氏が居城し、佐野城（現城山公園）への移転に伴い廃城になりました。交通要衝の地にあるため、戦国時代にはこの城をめぐって何回も戦いがありました。そのため、敵の攻撃に備えるいろいろな工夫がされています。平らに削平された曲輪。土を盛り上げた土塁。堅牢な高石垣、侵入を防ぐ堀。これらは現在、唐沢山神社本殿がある本丸を中心に広がっています。また田沼高校側山麓には、城主の佐野氏や家臣たちが普段生活していた根小屋（館跡群）が、数百年の眠りの中、壊されずに残っていることがわかってきました。
- 素晴らしい山城であるため、市では合併後、国史跡の指定に向け、城の状況を確認する発掘などの調査を開始しました。今後わかったことを皆さんにご紹介します。

唐沢山城跡を再発見しよう！

上空からの特撮な3次元測量によって出来上がった唐沢山城跡中央部の「地形起伏図」です。これを見ると、拠点としての堅固な城を築くため、山の広範囲にわたって尾根筋を削平し、堀や土塁(土手)などを設けていたことがよくわかります。本丸周辺には、安土桃山時代の貴重な高石垣が今日まで残り、唐沢山城跡のシンボリック存在といえますが、1945年にも及ぶ広大な史跡の中には、いたる所に敵からの攻撃を防いだ城造りの跡が残っています。

この図には、城跡のおもだったところの説明を添えてありますが、それ以外のところもよく見てみると、曲輪(くるま)などの平坦面や堀跡、古い道筋などを各所に見つけることができると思います。ぜひ、新たな発見を楽しんでください。

なお、山内は危険な場所があります。貴重な城生にも影響を及ぼしますので、参道や遊歩道からはずれないでください。



唐沢山城跡は、季節を問わず楽しむことのできるハイキングポイントが各所にあります。



プロローグ

川には必ず源泉があり、湧き水から始まる。今日の佐野の姿も同じようにとらえることができる。

古代から近世に至るまで、佐野の人々がどのように暮らし、仕事をしてきたのかを、調べ、考え、まとめましょう。



方法

～調べる・考える・まとめる～

講義を聴いて、何が知りたいかをグループで話し合い、調べることを分担する。

分担して調べ、考える。

分担して調べたことを、グループ内で発表し、何がポイントだったかを、グループで考える。

グループでフィールドワークを実施する。

結果をグループでまとめて、発表する。



たとえば職人の苦労話を聞いてみましょう

工程は？

工夫は？

変更点は？



本セミナーのねらい

これまでの佐野の暮らしぶりや仕事ぶりに想いを馳せ、新しい佐野らしい文化とは何かを探ります。

佐野の特色ある文化をみつけ、伸ばせるところを探します。

今回のセミナーをきっかけに市民同士のネットワークを育てます。

これらのことを通じて、文化活動を進める人材を育成していきます。



「暮らし」とは？

佐野の暮らしについて考えてみましょう。

暮らしに関わるものとしては、衣食住、気候、地形、河川、山地、産業、経済活動、移動、建物、素材などがあります。

これらは土地柄によって変わるものです。これら全体で文化を表しています。総体が文化です。お年寄りの知恵にも通ずるものです。

進め方

1. 色々な人と関わり合って、文化活動に楽しさや充実感を得ることにより、佐野市において主体的に活動することの楽しさを味わってください。
2. ふだん見過ごされていた地域への関心を高めて、郷土の歴史や伝統を再発見しましょう。このことによって、市民自らが独自性豊かな地域文化を創造しましょう。
3. 参加後、文化活動に関心が高まって継続したいという参加者の方々には、その後も事業団が進める事業に参画してもらうなどして、市民の文化的活動を支援していただきたいと思います。



政治史よりも文化史に注目します

文化史とは・・

科学や芸術、文学、さらには、
衣食住、風俗、信仰などの歴史的な変遷

フィールドワーク・テーマ例

1. 旧石器 上林遺跡
2. 縄文時代の生活と世界観・・・遺跡、生きてきた人々がいる、繁栄のきっかけは、
今日とのつながり
3. 出流原遺跡から考える弥生時代の暮らし・・・自然と共存しながら暮らしを営ん
できた
4. 佐野の城と城下町の暮らし・・・生活ぶり、外との交流は？、交流は狭い範囲？、
城の周辺を守る人々、守る住民を育てる、大量調理は、食文化、商習慣
5. 中根東里と佐野の人々
6. 天明鋳物職人の技と生活
7. 民話
8. 越名河岸
9. 明治・大正・昭和の佐野市
10. 日光例幣使街道の宿場町コース
11. 古い町並み、古い建物
12. 鉄道の歴史

講師等

講師

若者文化研究所 所長 西村美東士

講師の主な役割

ワークの指導(多様性を尊重したチームづくり)、
研究計画・研究発表に関する助言

担当

佐野市民文化振興事業団 栗原進（社会教育主事）

担当職員の主な役割

各テーマに関する資料・情報の提供、佐野の文化・文化財に関する解説、ワークのサポート、研究の支援
必要に応じてフィールドワークに同行します。

専門職員

佐野市民文化振興事業団 出居博（学芸員・社会教育主事）

専門的なアドバイスがもらえます

フィールドワークにおける
講師・専門家の配置について

- ・ 調査先との調整(面接時間等)
- ・ 受講者が「遠慮して聞けない」ときの補完
- ・ ウォッチしておいて、観点のずれなどを指摘